

# アビリティの花、 咲いています

令和5年7月  
アビリティ共生デイ  
Vol.46

～機能訓練の現場から～

今回は、進行性のパーキンソン病・パーキンソン症候群の方のリハビリをご紹介します。基本的な症状としては、  
①振戦（手足の震え） ②筋固縮（関節を動かすと抵抗感を示す、こわばり）  
③無動（動きが鈍くなり、一つ一つの動作に時間がかかる）  
④姿勢反射障害（姿勢を保てず、転倒防止が困難）とされています。  
レベルに合わせ、必要なリハビリメニューを選択し提供しています。



## 杖歩行が可能レベル

平行棒内バランス訓練や、マシントレーニングを積極的に実施。

バーをまたぐ歩行訓練は姿勢を意識してもらいます。集団体操でもダイナミックな動きを促します。

机上では脳トレや塗り絵等も積極的に！





## 歩行器歩行が可能レベル

平行棒内での下肢・体幹筋力トレーニングや、姿勢バランス訓練を実施。

座位でのリズム運動等も！  
スムーズに足が出る事を目指します。  
筋力の維持が大事です。



## 両手引き歩行で移動

介助量も増え、振戦も顕著。

小集団でリーチ動作や、筋トレ、姿勢を維持する訓練を実施。

トイレのドアの開け閉めをすることで立位バランスを鍛えます。

